

生活動線に合わせた計画収納で暮らしやすい

取材：文／松永信子（POOL） 撮影／若田部美行 奥谷 仁 瀧澤晃（顔写真） 半面図／野路健

女性設計家がプランした 片づけやすい住まい

実際に生活をする立場になって考えてくれる女性設計家がプランした家は暮らしやすいとよく耳にします。なるほど、この5人の方の家を拝見して納得しました。収納は生活動線と切り離せないものなのです。

一戸建



階段や廊下の壁も無駄なく活用。たつぷりとした収納スペースを奥さまが使いこなして快適収納

山田紀子さん 神奈川県川崎市

収納方法もアイデア豊富。整理整頓上手な紀子さんと次女のゆいちゃん。

山田邸は延べ床面積40坪弱の3階建て。住宅が隣接しているものの、3階のトップライトから光が存分に入る気持ちのよいお宅です。スポーツ用品や洋服など、モノが多い山田さん夫婦。以前住んでいたマンションでも入らないものは、実家に預けたりと、とにかく収納場所に困っていました。そのため、この家は少しのすき間もないように、収納スペースを依頼。それでも入居する前に、洋服をフリーマーケットに5回も出したというほど。「設計家の中村さんは、少しでもスペースができる、ここには棚が作れるわよと、具体的に提案してくれたので、すごくイメージがわきやすかったですね」

小物の収納場所として、扉の裏も活用している紀子さん。設計家がプランした収納スペースを、奥さまがお得意の整理術で、100%生かしていました。

1階

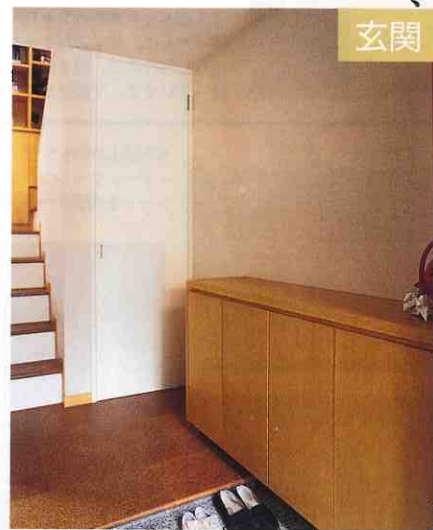
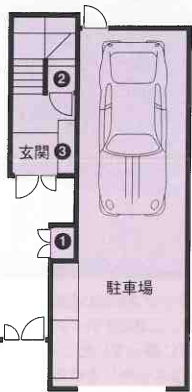
玄関には、下駄箱のほかに、物入れを設置。傘やコート、スリッパなども片づき、いつもスッキリ

▼傘、レインコート、長靴などの収納スペース。扉の裏に、タオル用のバーをつけてスリッパを掛けています。



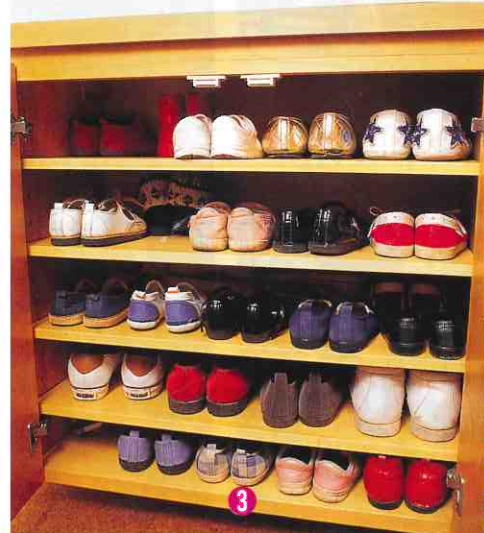
▲玄関の外の物入れには、三輪車などの遊具や庭いじりで使うスコップなどの園芸道具を。外で使うものは、外に収納場所があると便利。

◀下駄箱の扉の裏に、フックを付けてカギをハンギング。外出時にもパッと取れて便利。



玄関

▶壁の下駄箱が落ち着いた雰囲気。玄関にびったり、正面に見える白い扉がコートなどの長ものの物入れ。扉を剥けたのが右上の写真。



▲紀子さんと2人のお子さんの靴はこの下駄箱に。奥行きよ、大人用の靴が縦に1足、子ども靴は2足入るサイズ。



階段



▲1階から2階への階段の壁面収納。扉のある下のほうには、掃除用洗剤のストックや奥さまのぞうりなどを入れています。



2階

階段の壁面は収納兼飾り棚に活用。ベッドルームには3間のクローゼットとダンスを納める物入れを設置

▶大人ひとり分を1間半と考へ、ご夫婦のクローゼットは3間。冬物、夏物を全部収納しています。

◀上のほうはオープン棚にして、家族の写真やかわいい小物などを飾る棚にしてあり、階段を上るのも楽しくなるよう工夫。



ベッドルーム

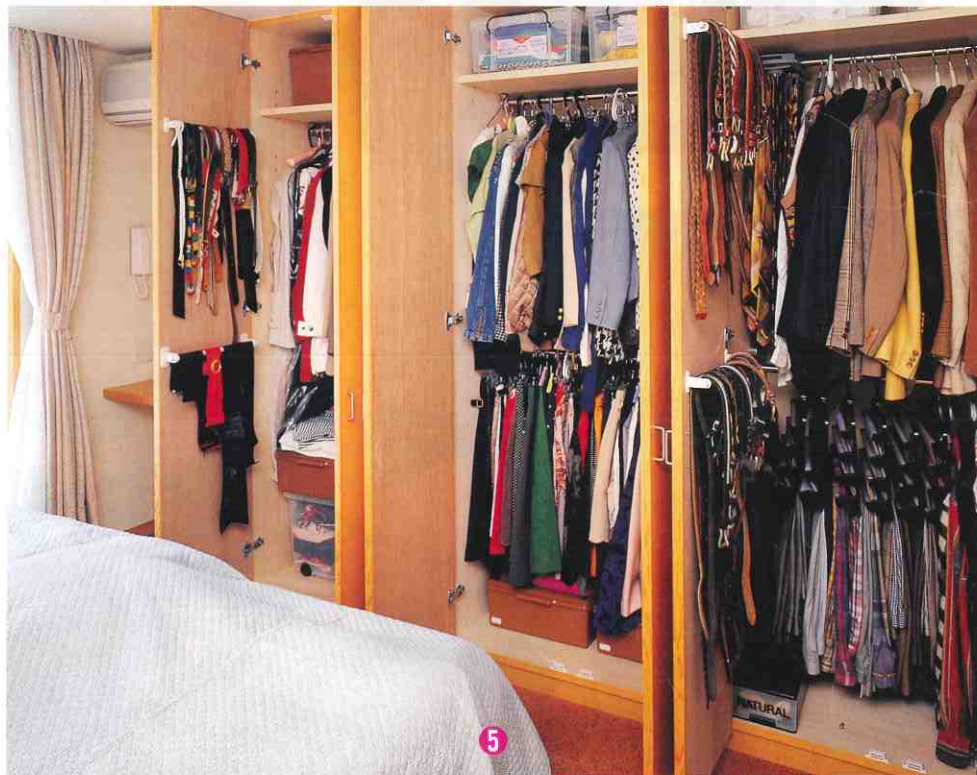
▶扉の裏を利用して手袋を掛けてあるのも衣装持ちの主人のアイデア。フックを使った小物の収納法は探しやすい、見て楽しい。



▶スイッチを入れるとクルクル回る電動式ネクター掛けを活用。数多いネクタイの中から選ぶのも、これなら手間がかりません。



▶オシャレなご主人は自分で洋服をきちんと整理。1つに4本かかるハンガーを使ってスラックスを、収納量がさらに増えました。



▲寝室には、クローゼットのほかに1間半の物入れを作り、ダンスと市販のプラスチックボックスを収納。スキー用の小物などもここに。
◀洋服収納は上下2段式。ジャケット、スカート、ズボン……きちんとハンギング。扉の裏にはタオル用バーを取り付け、ベルト掛けに活用。

家族が集うLDKは、ソファ下や壁に収納を設け広さを確保。キッチン脇には家事コーナーも作りました



▲家で仕事をもつ紀子さんのホームオフィス。ミシンかけなど、なんでもここでできて効率的。

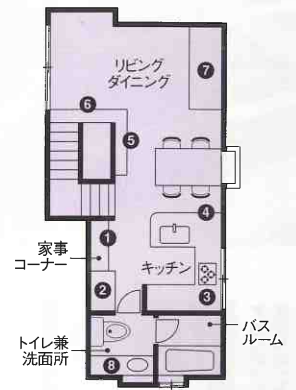


▶デスクの上は、日常使いの食器棚。この家事コーナーはキッチンとすぐ脇にあるので、料理をしなから、家事の雑用もこなせます。



▶家事コーナーに続く洗濯機のスペース。扉は、紀子さんのそのときの動きに合わせて左右どちらからも開けられるので、使いやすい。

山田邸 3F



◀白い壁とナチュラルの家具、コルクの床がやさしい印象のリビング・ダイニング・キッチン。手前見える棚には、写真アルバム、本、ビデオテープ、カセットテープを収納。その上は観葉植物が置いてあり、3階ながら緑のあるほっとできるスペースに仕上がっています。▼階段は1階からの吹き抜けて子どもが2階にいても気配を感じられるよう工夫。



6



5

ソファコーナー



7

▶リビングルームの雰囲気に合わせてオーダーしたソファは引き出し付き。リビングでの紀子さんや家族の動線に合わせて入れるものを決めました。



▶4つの引き出しには、奥から肌寒いときにはおる上履、これからアイロンをかける物、オモチャ、洗濯ばさみなどの洗濯に必要な物を入れて収納。

洗面所



8

▲自然光の入る明るい洗面所とトイレ。朝起きて着替えてからは、ほとんど3階にいる紀子さん。洗面所は、鏡の裏も収納スペースにして化粧品なども納めています。



▲深めの引き出しにウォッシュタオル、ハンカチを縦にきちんと並べてしまっています。柄が見えて選びやすいし、きれい。洗面ボウルの下には掃除関係の洗剤を。

キッチン



▲左は調味料を入れる棚。右には小物用の棚を。ピンクのカーテンは目隠しを兼ねたアクセント。なべ敷き、なべつかみをフックに掛けてあるのもかわいい。



▲動線を考えてガスコンロの下になべ、その左に油類を。異なる形のなべではなく、スタッキングできるなべにそろえてあるので、らくに納まります。

▶コの字型のコンパクト・キッチンは、大理石の天板を使用した家具工事で作りしました。キャビネットは既製品。コストを抑えながらも、システムキッチンのような美しい仕上がりとし収納スペースを確保。



3

▶ご主人のカラフルな時計。カウンターのガラス棚の中に薄いコルク板をはりつけて、ピンで留め、並べたもの。飾りながら収納にもなるアイデア。

カウンター



▲家族の写真をひとりずつフォトフレームに入れ、ガラス棚に。貝殻やお気に入りのカップ、グラス類とさりげなく置いてディスプレイしながら整理。

◀キッチンとの間仕切り収納。上にはカメラ類、下のキャスター付き物入れには、アルバムにまだ整理していない写真類をプラスチックのケースに入れて収納。

4

設計者から 一言



通路兼収納にするなど
1つのスペースに2つの
機能をもたせ狭さ克服
中村雅子さん デザイナー

35坪の敷地なので、納戸的な部屋を作るのは無理。通路兼収納といったように、1つのスペースにダブルの機能を兼ねる

ことにより、スペースを有効に使うようにプランニングしました。階段まわり、廊下の壁面に収納をとり、リビングなどインテリアを楽しみたい部屋は、飾れる壁と収納する壁に。収納は、生活動線と使い勝手のよさを重視。キッチンのカウンタートップの下にゴミ箱のように頻繁に出し入れする場合は、扉を付けないオープンなスペースに入れています。●中村雅子デザイン事務所 ☎03(33329)6391